

◆ゲストスピーカーより活動紹介

特定非営利活動法人

ふれあいの家ーおばちゃんち 事務局長 **幾島博子さん**（本学卒業生）

* 「ふれあいの家ーおばちゃんち」は、子どもと大人がともに健やかに生きるために、子育て広場事業、講座、情報誌やホームページづくりなどを行い、世代を超えた子育て・子育ての仲間のネットワークを、品川区内を中心に進めているNPOです。

●家の形のパンフレットは「おばちゃんち」の顔

はじめまして、幾島博子です。私は「ふれあいの家ーおばちゃんち」の事務局長をしています。家形のパンフレット（資料1-①②）を見てください。これが私たちの顔になっています。





赤ちゃんから高齢者までが、世代をこえてふれあい暮らせる、 そんな「まち」をつくりたい！

子育て・育育にやさしいまちづくりを！

現代の暮らしは人々にプライバシーを確保するという「心地よさ」をもたらした一方で、無関心と孤立を生み出しました。若者は、ありのままの自分を受け入れてもらいながら「自立」していくことが難しくなっています。母親は、密室化した子育て空間の中で子育ての悩みを一人でかかえ、悲しい事件が数多くおきています。父親や高齢者も、共に暮らす町の人々とのふれあいの場を持ちにくくなってきています。だからこそ「おばちゃんち」は、気軽に声をかけ、心の通いあう「まちづくり」をすすめていきます。

100軒のおばちゃんす、100人の仲間を！

庭と縁側のある一軒家や小さなサロン「おばちゃんち」。自分のできることで子育てをサポートしたり、ホームページ・情報誌・講座・場づくりなどを手がける「おばちゃん、おじちゃん、お母さん、お父さん、お姉さん、お兄さん」。そんなみんなが「子育て・育育」を軸にゆるやかにつながります。

おばちゃんちホームページ
<http://obachanchi.org/>

Wanted!!

「おばちゃんち」が募集しています

<会員入会案内>

おばちゃんちの事務局活動・事業運営スタッフ、サポーター・影からの応援・「おばちゃんち」の利用者として、次の五つの会員があります。年令を問わず、あなたがやりたい、できるかたちで会員になりませんか？

正 会 員	各自ができる範囲で、恒常的に活動に参加しようと思う方	年会費(個人) 5,000円
利 用 会 員	おばちゃんちの事業を利用しようと思う方	年会費(家族) 500円
スタッフ会員	子どもとあそんだり、保育に関わりたと思う方	年会費(個人) 500円
支 援 会 員	「できるときにできるだけその人らしく」活動に参加しようと思う方	年会費(個人) 1口2,500円
賛 助 会 員	主に財政基盤を支える個人、団体	年会費(個人及び団体) 1口10,000円

<あなたスタイルの「おばちゃんち」を始めませんか？>

場所、時間、形態はそれぞれ。あなたができるかたちで、あなたが管理人の「おばちゃんち」を作りませんか？「こころざし」さえあれば、おばちゃんちスタッフが相談にのり、お手伝いします。

<おもしろさ&絵本>

「集う」活動で、将来の「家」で使うおもちゃ、絵本などを提供してください。ご家庭で使いこんだものでかまいませんが、おもちゃは布や木、自然素材のもの、絵本はすぐれた作家のものにこだわりたいと思います。

<場の当たる家>

小さくても、暖かな縁側があるような「家」を探しています。「集う」活動や預かり保育、ショートステイなど、これからはじめていく事業の拠点となる場所となります。いつか必ず実現できることを夢見しています。

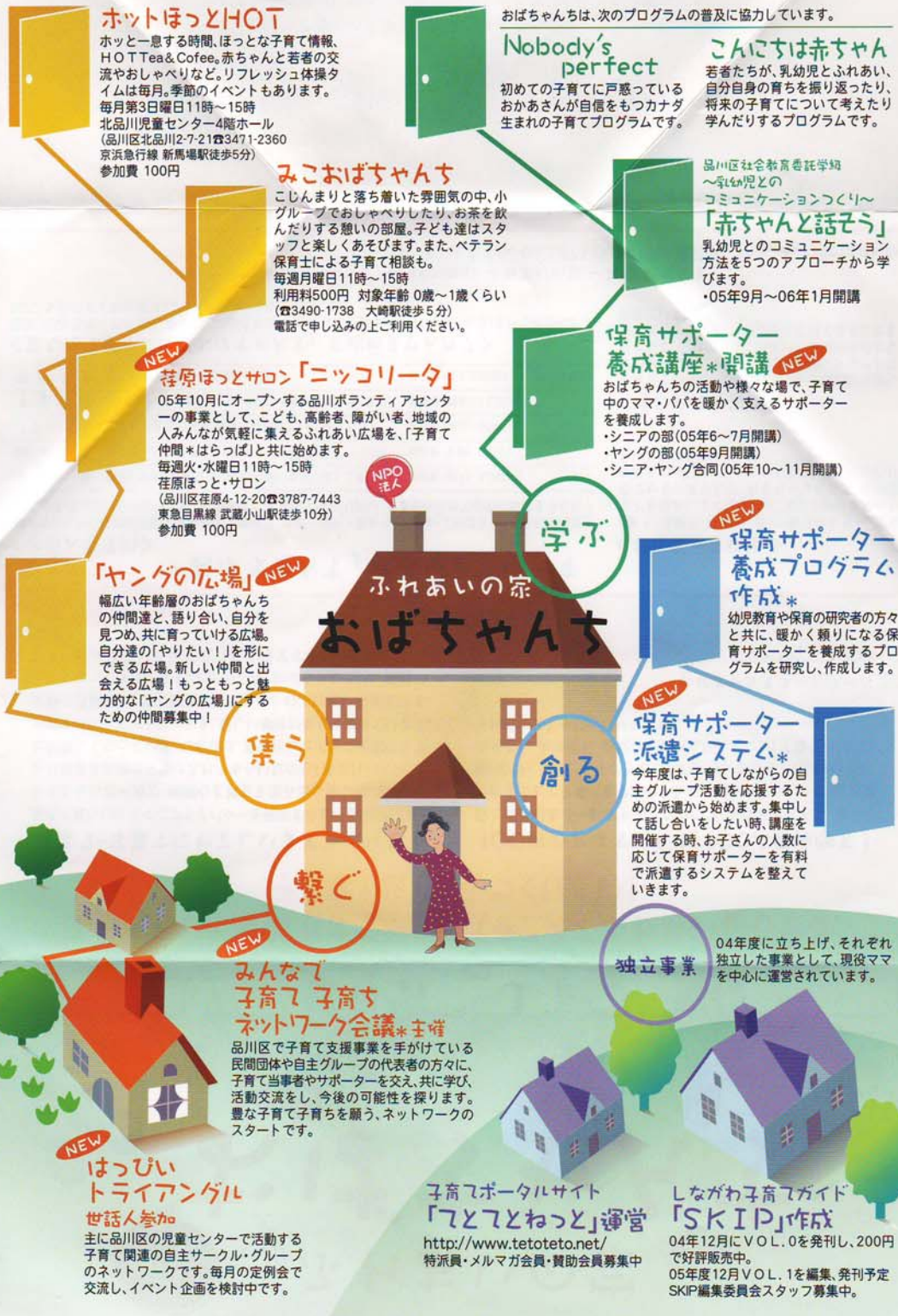
特定非営利活動法人 ふれあいの家—おばちゃんち

連絡先 ● tel. & fax. 03-3471-8610 渡辺美恵子 mikochan@cts.ne.jp

05年度「おばちゃんす」へようこそ

05年度主要事業「子育て・子育てにやさしいまちづくりネットワーク事業」

***独立行政法人医療福祉機構助成事業



●幾島さんの出会いとつながり

事務局長というのは私の半分の顔で、実は28年間、品川区では児童センターといいますが、公務員として区立の児童館職員をしています。自分自身の子どもは今22歳と17歳で、品川区で子育ても仕事もNPO活動もしてきました。22年経っても子育てはまだまだ続いているのですが、そんな風に品川区で暮らしてきました。

大学在学中は全く勉強していなかったので恥ずかしいのですが、本当に妙なご縁で母校に伺うことができたことをとてもうれしく思っています。

15分ぐらいの時間でどのくらいの話ができるか不安ですが、資料2を見てください。私が今の活動にたどり着き、品川区での子育てのネットワークができるまでの間には、私ひとりの力という意味ではないのですが、私自身の生活のいろいろなつながりがあったのです。私は児童センターの職員ですが、ささやかですがいろいろな地域の活動にもかかわってきました。無認可の保育園、公立保育園、学童保育クラブの父母の会で、同じ地域で暮らすたくさんのお父さんやお母さんたちと出会いました。

資料2 ↓

＜おまけ＊幾島個人史＞

品川区児童センター職員

無認可保育園父母の会

公立保育園父母の会

学童保育父母の会

小学校、中学校PTA

品川太陽少年団父母会

品川こども劇場

マッハスタジオ

NPOフォーラムしながわ

しながわチャイルドライン

六行会チルドレンズフェスティバル

品川冒険あそびの会

ふれあいの家ーおばちゃんち

また、仕事をしているのでPTA活動は少ししかできませんでしたが、小学校や中学校の保護者の方々とも出会いました。

長女は小3から10年くらい積極的に地域の少年団の活動をしていたので、そのお父さん・お母さん、若者たちと知り合い、今もずっとつながっています。全国組織のおやこ劇場・こども劇場というものがありますが、私自身が劇などを観るのが好きなので「品川こども劇場」の会員を20年以上、今は親だけです。が会員でいます。

また、「マッハスタジオ」という、障害を持っている子どもの家族のレクリエーショングループの立ち上げにかかわりました。「NPOフォーラムしながわ」は、品川区内にあるNPOのゆるやかなネットワークですが、その活動も

数年間やってきています。

また、「しながわチャイルドライン」という、電話で子どもたちの生の声にゆっくりと耳を傾けて聴く活動にかかわったり、こども劇場の流れにある活動ですが、「六行会チルドレンズフェスティバル」という、芝居という文化活動を基にまちづくりをしていこうというフェスティバルの企画にも数年間参加しています。世田谷から始まったプレイパーク、冒険遊び場の活動が今全国に広がりつつありますが、品川冒険遊びの会の活動を、影ながら応援してきました。

そして、3年前から「ふれあいの家ーおばちゃんち」の活動をしています。

ひとりの母親として子どもを育て、仕事として子育て支援や子どもの活動にかかわるだけではなく、私のいろいろな出会いがいつもたくさんあり、私の中に溜まっていった財産を、私の中だけにしまっておくのはもったいないと思いました。興味があれば、私はどんどん外に出ていくタイプで、恥ずかしながら、もらったものはすぐに外に出したくなるのです。そうしているうちに、いろいろな人との出会いが積み重なって、結び付いてきました。暮らしの中、生活の中から、形に見えるものができたのだなあをつくづく思います。もちろん私だけではなく、出会った人たちのいろいろな活動があってこそことです。

資料5の図のよう簡単には表せないような、複雑な絡みの中で、世の中はできているのだなと痛感しています。

●「ふれあいの家ーおばちゃんち」の活動

「ふれあいの家ーおばちゃんち」には、渡辺美恵子さんというキーパーソンがいます。彼女は中野区の児童館の館長だった方で、館長を辞めた後、自分の住まいのある品川で、子育てを軸に異世代がふれあえるようなNPO活動を始めたいと思っていました。かれこれ4、5年前、私はもう一人の同僚と一緒に、ある勉強会の場で、渡辺さんと偶然出会いました。いろいろ話しをしているうちに意気投合し、この三人を含む10人弱の仲間で「おばちゃんち」を立ち上げようということになったのです。準備期間を経てNPO法人を設立し、約3年になりました。

資料1-②をみてください。今「おばちゃんち」がどんなことをしているのかを簡単に紹介します。写真もみてください。

集うは、「ホットほっとHOT」「みこおばちゃんち」「ニッコリータ」「ヤングの広場」（準備中）という4事業をやっています。「おばちゃんち」という一軒の家はまだないので、月に1回日曜日に、児童館の部屋を借りて「ホットほっとHOT」という広場をやっています。

写真のように、高校生や学生など若者のスタッフも多く、親子で来た小さい子どもたちはヤングスタッフとよく遊び、お母さんたちはのんびりおしゃべりをしたり、「SKIP」という情報誌の編集会議をしたりしています。そのお母さんの右の席に若者が2人いますが、今度高校を卒業する子たちで、お母さんたちと一緒に交わっておしゃべりをしています。こんな雰囲気のが活動が「ホットほっとHOT」です。「ホットほっとHOT」の写真には、年配のスタッ

フも写っていますが、若者、私世代、熟年世代まで、いろいろな年齢層のスタッフがいます。お楽しみ会では、大学生が司会をしています。新聞紙あそびの真ん中で、新聞紙の吹雪にまみれているのが代表の渡辺美恵子ですが、こんなふうにして遊びました。

「ホットもっとHOT」の写真↓



←代表 渡辺さん

「みこおばちゃんち」は、高層マンションの一室で隠れ家のようにやっている活動で、残念ながら写真はありません。毎週月曜日の１１時から３時、平均５組くらいの親子が利用しています。いっしょにお昼を食べてたりして、大家族のような雰囲気の中、ちょっとした悩みや愚痴も話しやすい場のようです。近隣の大学生、地元の夜間高校生が定期的にスタッフとして入ってくれています。

次は「ニッコリータ」（資料３参照）という事業です。品川区社会福祉協議会との協働事業で、毎週火曜と水曜日の１１時から１５時に、開設することができた場所です。元学童保育クラブだった庭のある建物を使っています。のんびり遊んだり、昼食をともにしたり、時々講座を開いたりという、集う活動をしています。この春からは、「ニッコリータ」をいっしょに運営している「子育て仲間＊はらっぱ」という、現役お母さんのグループが、産後セルフケアのクラスを始めます。

「ニッコリータ」の写真↓



次に資料１-②の「学ぶ」です。カナダから日本に入ってきた「Nobody's Perfect（ノーバディーズ・パーフェクト）」というプログラムの推進、若者が初めて赤ちゃんとお出会う講座の企画をしています。また、今年度は品川区の社会教育委託学級で「赤ちゃんとお話そう」という連続講座を、現役のお母さんが中心になっておこないました。また、ヤングとシニアの保育サポーター養成講座を行い、その保育サポーターを養成するプログラムとサポーターを派遣する仕組みも作りつつあります。

次は「独立事業」と「繋ぐ」で、今日のメインのお話になります。「独立事業」は、子育てポータルサイト「てとてとねっと」（資料４参照）と子育てガイド「SKIP」があります。一昨年、助成金を活用して『ホームページ作りをしませんか？』という講座を企画しました。ホームページ作りの考え方や具体的な技術を学び、その後「てとてとねっと」という子育ての情報発信ができるサイトを作りました。「てとてとねっと」は、日記形式のブログとは違った感じに見えますが、複数の現役のお母さんたちが、自宅で更新作業をしやすいように、ブ

資料 3 ↓

★利用にあたって★

- 初めに登録カードに記入して下さい。
スタンダードもお預けします。次回から参加された時にお出し下さい。
- カフェスペースでは、お茶やコーヒーなど自由に飲んでいただけます。
おやつやお座などは、ご自分でお持ち下さい。

★お持ち込みのお約束★

- ゴミは持ち帰りましょう。
(おむつ、食飲み物や食べ物) などの容器など
- おもちゃや絵本を1組め。
備品や設備は大切に扱います。

赤ちゃんからじいばあまでサロン

ニッコリータ

nicecolita



ニッコリータは、私たちが運営しています。

子育て仲間*はらっぱ

「地域の仲間にも、自分もいっしょであらう!!」をモットーに、
私たち4人で「はらっぱ」を立ち上げ、
子ども、子育て仲間、地域の人たちと
一緒に、子育て仲間*はらっぱを運営しています。

☐ harappa@gol.com
URL: <http://plaza.rakuten.co.jp/harappa>

**NPO法人
ふたあいの家-おばちゃんち**

赤ちゃんから高齢者まで集える、
子どもが安心して暮らす、おばちゃんちが
安心して暮らす、おばちゃんちが安心して暮らす。
互いに支えあい、共に暮らす場所。
そんな「まち」をめざします。

☐ mikochan@cts.hs.jp
URL: <http://obachanchi.org>

場所★ 荏原ほっとサロン
(品川区荏原4-12-20 Tel: 3787-7443)

日時★ 火・水曜日 11:00~15:00
※お天気の悪い日は、お天気に合わせて変更します。

主催★ 子育て仲間*はらっぱ & NPO法人 ふたあいの家-おばちゃんち

ニッコリータはこんなところデス。

赤ちゃんからオトナまで、地域のいろんな人たちが集い、
ゆったりくつろいだり、じっくりあそんだり、そして仲間と出会い 話がでる。
気持ちのいい居場所になりたい!

そんな場をみんなで作るために、
お互いを思いやるあたたかいハートで
「ここにいい居場所をつくら!!」
という気持ち。
それだけ集って
いらして下さい。

毎週 火・水
11:00 ~ 15:00
参加費 無料

★ 休日はお休みです
その他 お休みの日もあり。
毎月の予定表をご確認ください。

★お楽しみ★



★Cafe スペース★



お茶やコーヒーなど
自由にどうぞ。

★お部屋の中は...★



おもちゃや
絵本など
たくさんあり。
絵本もあり。

荏原ほっとサロン

- 品川区にある、ボランティア団体や地域の人が自主的に運営する、地域の交流サロンです。
- さまざまな世代や立場の人たちが、誰でも気軽に集える、社会福祉や地域の交流に関わっていただける場所をめざしています。
- 品川区社会福祉協議会、ボランティアセンター、など(高齢者サポートグループ)、ボランティア(障害者サポートグループ)、荏原4丁目駅、ジグザグビルなど、NPO法人 ふたあいの家-おばちゃんち、子育て仲間*はらっぱが運営しています。

※こんな予定にない日もあり

2f 月~土 11:00~15:00 (ボランティアセンター) 荏原4丁目駅南口



1f 月9~13日 11:00~15:00

火 11~15:00 ニッコリータ 無料
(月10 11:00~15:00 荏原4丁目駅南口)

木 11~15:00 荏原4丁目駅南口

金 11~15:00 荏原4丁目駅南口

土 11~15:00 荏原4丁目駅南口

資料 4 ↓

子育ては あせらなくてもだいじょうぶ
まちのやさしさを感じながら 仲間といっしょに楽しもう
“てとてと” のんびり 手と手を取りあってね！

ようこそ！
しながわ子育てポータルサイト【てとてとねっと】へ

<http://www.tetoteto.net/>

* お問い合わせ先 *

てとてとねっと編集局

http://www.tetoteto.net/
[e-mail] info@tetoteto.net

〒140-0001 品川区北品川 2-28-19
NPO法人ふれあいの家・おばちゃんち 気付
Tel.&Fax. 03-3471-8610

てとてと会員募集中！

てとてとねっとでは、“て”をつないでくださる方をお待ちしています。

- ◆ **特派員会員**：情報を提供してくれる方
(お住まいの地域の子育て情報などをお送りください！)
- ◆ **メルマガ会員**：ゆる〜くつながりたい方
(サイトの更新情報やニュースなどをメールでお送りします)
- ◆ **賛助会員**：てとてとねっとの活動に共感し、資金などの援助をしてくださる個人・団体
(手は出せないけどサポートしたい！という方に☆)

お問い合わせは、てとてとねっと編集局まで♪

しながわ子育てポータルサイト

てとてとねっと

しながわ子育てポータルサイト

てとてとねっと

『てとてとねっと』って…

しながわの子育て情報ポータルサイト。“ポータルサイト”とは、情報の玄関口のこと。地域での子育てが、もっと楽しく快適になるように！…と、現役子育て真っ最中の有志の仲間が集まって、試行錯誤しながら作っています。(2004年12月にオープンしました)
「てとてとねっと」という名前には、“ひとりじゃないよ、てとてをつないでみんなで子育て”…そんな願いをこめました。

みんなの声をかたちにしたい…

「子どもはかわいいけれど、なんだか疲れちゃう。」「うちの子、これで大丈夫なのかな？」
「引っ越してきたばかりで友達がいらない。」「こんなときどうしたらいいの？」「どこかに遊びに行きたいなー。」「子連れに優しいお店は？」「幼稚園って…!？」「まちの様子がわからない…」
「うちもそうだったけど、大丈夫よ〜!」「この公園おもしろい!」「子育てを楽しもう〜☆」
一見雑多なようですが、同じ立場で気軽におしゃべりすることの重要性。自分の場を持つ大切さ。ここにすれば、きっとなにかある・誰かいる。そんなお役立ち情報サイトです。

こんなことしています！

しながわ子育てポータルサイトの企画・作成・運営。

- **本館《てとてとねっと》**
<http://www.tetoteto.net/>
保存版のお役立ち情報「あすける」「けんこう」「なかまづくり」、イベント情報、掲示板 など
- **別館《てとてとあつまれ♪》**
<http://tetone-connection.seesaa.net/>
身近な情報アレコレを 気軽にやりとりできる場所。
(おすすめ公園、おいしいお店、おがきもの、図書館へ行く、劇場・映画館、行ってきました！こんなとこ、行ってきましたイベント場、区内/エリアフリー情報など…)

イラスト紹介

絵本「てとてとてとて」
ひとの手のあたたかさ、すばらしさを、さりげなく描いている、とても素敵なお話です。
月刊「かがくのとも」400号(2002年7月)
浜田桂子作・福音館書店刊

おやかであそぶ、しながわ子育てガイド

S&Kc&P

品川SKIP編集委員会・編

ふと手があいたとき、ちよつとつらいとき…
「すきっぷ」のページをめくってみよう！
なんだかワクワクしてくるよ〜☆

※「てとてとねっと」からも購入できます！
(1冊 200円) www.tetoteto.net

ログで作っています。

子育て情報誌「SKIP」は、会場内の資料コーナーに閲覧用の0号と1号と2冊あります。この子育て情報誌作りも講座を開き、十数人のお母さんたちが集まって、実際に形あるものを作りました。「てとてとねっと」も「SKIP」も「おばちゃんち」本体では抱えないで運営しており、「おばちゃんち」自体を大きくしていこうとはしていないのです。それぞれの事業の中心になっているお母さんたちが「てとてとねっと編集局」「SKIP編集委員会」という独立した組織として、それぞれ歩いています。ただ、任意団体で法人格がありませんから、「バックにはNPO法人のおばちゃんちがいるから、社会的な責任はおばちゃんちが持つよ。何かあったら、『困っているよ！助けて！』と実家に帰ってくるように、いつでも来てね」という関係で、渡辺や私や事務局のスタッフが見守り、愛を注いでいるというか一緒に楽しみながらやっている事業なのです。

資料1-②の「繋ぐ」です。今年度おばちゃんちは、独立行政法人福祉医療機構の助成金事業として「子育て・子育てにやさしいまちづくりネットワーク事業」をおこないましたが、その中で「みんなで子育て・子育てネットワーク会議しながわ」を立ち上げ、昨年秋に三回の会議を開催しました。

資料5の図を見ながらお話します。真ん中に「子育て・子育てネットワーク会議しながわ」とありますが、これは「おばちゃんち」が品川の真ん中にあるという意味ではなく、手前味噌で自分たちのことを真ん中に書かせてもらったということだけのことです。少し太い線の楕円形が「ネットワーク会議しながわ」の繋がりです。周りにいろいろな大きさの楕円形がありますが、それぞれのネットワークがあるということを示しています。

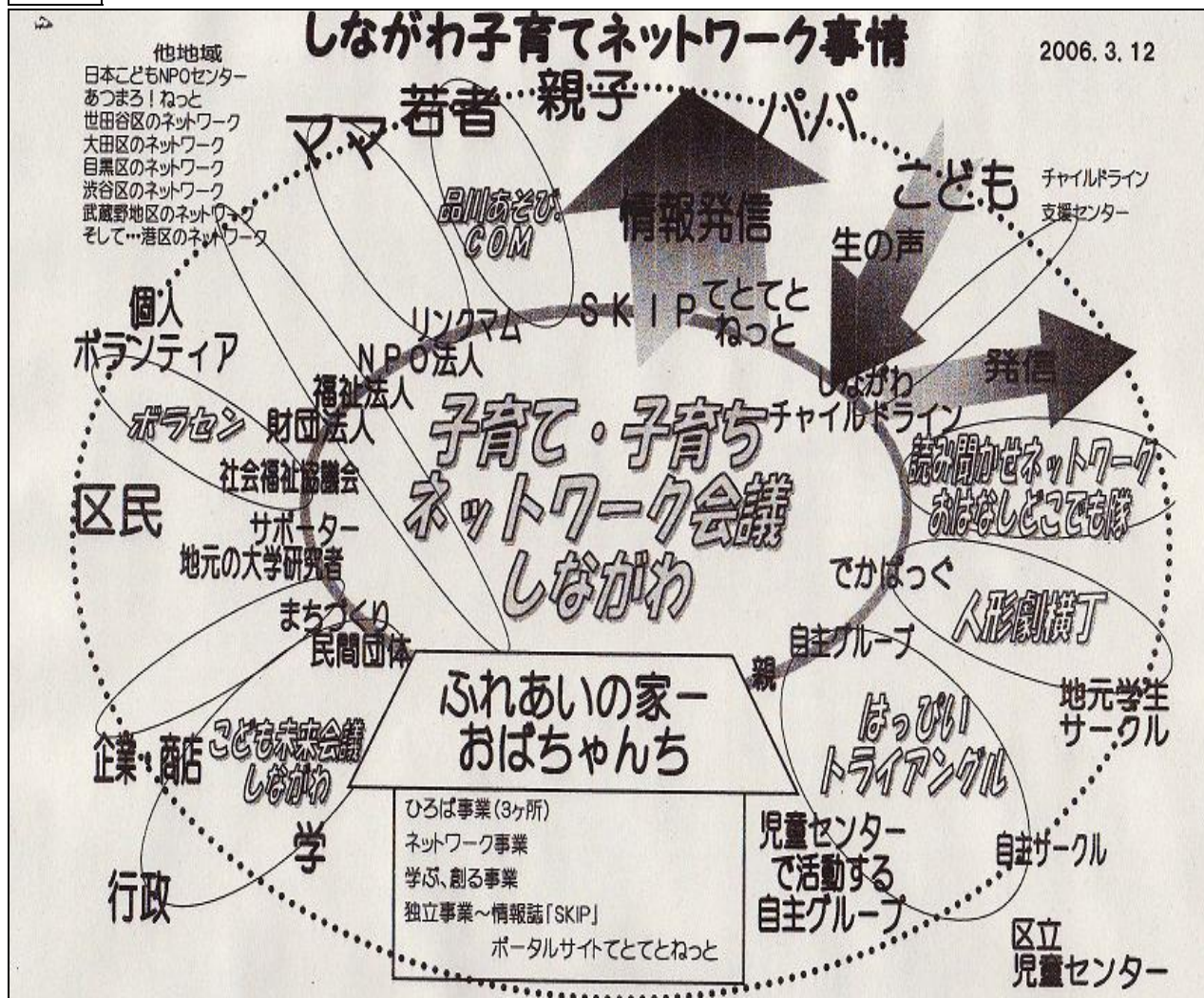
点線のところは区民や、お母さん、若者、親子など、品川区で暮らしている人や、動いている人全体を表しています。

「おばちゃんち」の中には、今話したような事業がいろいろあるのですが、「子育て・子育てネットワーク会議しながわ」ができるより前に、私のかかわりの中では児童センターの活動からつながっていた「はっぴいトライアングル」が大きな存在でした。「はっぴいトライアングル」は、児童センターで活動する自主グループのつながりです。資料6は、先日行われた「はっぴいトライアングル」の交流会の呼びかけチラシです。写真は、その交流会の時のものです。いろいろな活動をしているお母さんたちが活動発表と交流をし、今日の前半のようなことを実演入りでやりました。昼にはおにぎりの販売をして、みんなでわいわいとお昼を食べて、午後は、活動分野ごとに分かれてお互いの活動でこんな悩みがあるとか、もっとこんなことが一緒にできないか、という話をし、最後には大きな円になってみんなでまとめをしました。

資料1-②の左側の下に「はっぴいトライアングル世話人会参加」とあります。「はっぴいトライアングル」は、もともとは児童センター主催の子育て広場事業のイベントとしてやっていたのですが、その中の事業として収まりがつかなくなってきました。私は職員としてこの事業にかかわりながら、一方で

「おばちゃんち」の顔もあって、立場を混同させないように配慮をしていました。「はっぴいトライアングル」に参加していた中心的なメンバーから、「児童センター主催の中でよりも、独立して自分たちでやろうよ」という意見が段々に出始め、「はっぴいトライアングル」は、いまや児童センターから自立して動くようになりました。

資料 5 ↓



「はっぴいトライアングル」という名前の語源ですが、例えば専門的な知識を持っている人、子育てをしている親子、何かボランティアをしたいという思いのある人、その3つの点があったとして、だれがだれのためにということではなく、3つの立場の者が、みんなそれぞれ生かしたり生かされたりでつながったことでみんなが幸せになれる、というようなことを言葉に表して「はっぴいトライアングル」、そういうトライアングルがいっぱいできたら品川はもっと暮らしやすくなるよね、という思いのこもった言葉です。そのようなネットワークが、ほぼ5年くらいの間でじわじわと動いてきたのです。



2006年1月20日
VOL. 3

子どもたちが楽しめ、親たちが元気になる、そんな場がいっぱいあったらうれしいよね！
つながることで生まれる、『はっぴいトライアングル』もその一つ！

子育て自主グループ活動者交流会開催のお知らせ

第3回 はっぴー交流会

主催：はっぴいトライアングル世話人会

今回ののはっぴいトライアングルは荏原地区で活動する子育て・子育てに関わる自主グループと交流したい！と、昨年10月にオープンしたばかりの「荏原ほっと・サロン」で開催することになりました。
各グループがそれぞれの持ち味を生かした発表をいたします。
どんな活動があるのか知りたい！見てみたい人、私たちも発表したい人、これから何か初めて見たい人、自分の経験や知識や技術を役立てたい人……いろいろな人たちがはっぴいになる交流会です。
もちろん、お子さん大歓迎！！ぜひ、お出かけ下さい。

1 開催日時	2006年2月26日(日) 午前11時～午後4時
2 会 場	荏原ほっと・サロン(裏面地図参照) 住所 品川区荏原4-12-20
3 内 容	午前の部 (11:00～12:30)ーサークル活動紹介ー 手遊び・わらべ歌など……ふれあいの家ーおばちゃんち 指人形・劇遊びなど……でかばっぐ 絵本の読み聞かせ……はっぴいママ ママのためのセルフケア……子育て仲間＊はらっば リトミック・ハンドベルなど……交渉中 手づくりおやつレシピ・スポーツ遊びなど……交渉中 ※発表に参加したい団体募集中！！ 昼食休憩 (12:30～13:30) ーおにぎり販売します 午後の部 (13:30～15:00)ー活動分野別交流会ー 第1分科会 子育て支援活動 第2分科会 表現・言語活動 第3分科会 音楽・スポーツ活動 上記の3つの分野に分かれて、活動する上での悩みを相談したり、知恵をシェアしたり、これからの夢を語ったりと交流を図ります。団体にこだわらず興味と関心のある方のご参加をお待ちしています。
4 その他	参加を希望される団体は当日団体紹介コーナーを設けますので以下の物をお持ち下さい。 ①掲示物(模造紙半分程度) ②チラシ(30枚程度) 連絡先 荏原ほっと・サロン TEL(火・水11:00～15:00のみ)&FAX(随時) 03-3787-7443



はっぴいトライアングルの写真↓

はっぴいトライアングル

世話人会

でかばっぐ

品川こども劇場

子育て仲間＊はらっば

リンクママ

ふれあいの家ー

おばちゃんち

個人参加





●「子育て・子育てネットワーク会議しながわ」

そうこうしている中で、今年度福祉医療機構からの助成金を得て、「子育て・子育てネットワーク会議しながわ」を立ち上げようと、呼びかけました。

資料7の団体が「子育て・子育てネットワーク会議しながわ」に参加している団体です。座長の小俣昌道さんは、もともと品川区にある幼稚園の園長で、品川区から「幼保一元園」を中心とした大きな事業を委託されている「NPO 子育て品川」の代表の方です。

片岡玲子さんは、以前は東京都の職員として、児童学園、児童相談所や東京都児童会館の館長もなさった方で、今は立正大学の心理学部の教授です。片岡先生には副座長になっていただき、現在では資料に書いてある団体に参加しています。今日参加している港区のグループの方とも共通点やつながりのある団体もたくさんあります。

名前だけでは「何だろう？」という団体もあって、説明する時間がなくて残念です。会員たった1人でやっているという障害児の親の会から、病児保育では全国的に名前が通るようになったフローレンスというNPOもあり、いろいろな規模の団体が入っています。

このネットワークは会議に徹し、イベントはやらず、情報交換、交流をする会議として、今年度は3回行いました。来年度もそのような予定でいます。

（来年度から正式名称を『子育て・子育てネットワークinしながわ』とします）いずれ、集まった仲間が子育てメッセみたいなものをやろうということが出てきたら、別枠で実行委員会を作るとか、あるいは「そういうイベントをやるのは、『はっぴいトライアングル』にお任せください」とか役割分担をしていけたらいいなと思っています。

「子育て・子育てネットワーク会議しながわ」に参加している団体が、「はっぴいトライアングル」という輪の中にいたり、「でかばっぐ」という人形劇のグループは、「人形劇横丁」というイベントをやる中で、地元の学生サークルやいろいろな人形劇やパネルシアターをやるグループとつながっていたり、「読み聞かせネットワークおはなしどこでも隊」は、そのものが読み聞かせをする人たちのネットワーク団体ですし、フローレンスは「こども未来会議しながわ」という大きなネットワーク会議を主催して立ち上げたところです。品川ボランティアセンターを運営している品川区社会福祉協議会も参加していますが、ボランティアセンターは、品川区内のたくさんの個人ボランティアや、ボランティア団体のネットワークを作っています。「リンクママ」は、お母さんたち個人をつなげているメーリングリストグループなので、たくさんのママたちとネットワークされています。「品川・あそびCOM」は、児童センターで遊んで大きくなってボランティアをしていた若者たちが、「俺たちの力で何かイベントをやろうぜ」と立ち上げた5、60人の大学生や高校生、若者のグループです。去年の8月の暑い日に企画したイベントの一風景の写真です。けっこうにぎにぎしく、こんなイベントを素晴らしい若者たちが行いました。

ネットワーク会議は、会議に徹すると言いましたが、「てとてとねっと」では、近いうちに「子育て・子育てネットワークinしながわ」というコンテンツをつくる予定で、「てとてとねっと」を通じて外からも見えるようになります。情報誌という紙媒体を担う「SKIP」も参加していますから、もっと広く区民全体に発信できるツール自体が、会議参加団体の中にあるというわけです。とても膨らみのあるネットワークになっているのだなとつくづく思います。

品川・あそびCOMの写真↓



●なぜネットワークを創るのか???

次になぜ、そのようなネットワークを創るのか?ということです(資料8参照)。ネットワークとはいったい「なに?」なんだろう。「それぞれの団体の違いを認めながら」これがとても大事です。違いを認めながら、情報交換、連絡、共有ツール、協働企画などを通して、つながっていくこと。「つながったらなにができるのか?」違う立場、価値観の人と出会える。同じグループの中や同類のグループ同士だけでは、同じミッション、目的を持っているので、意気投合できるけれども、似通った人たちとの集まりに留まります。ですが、ゆるやかなネットワークではいろいろな立場、いろいろな価値観の人と出会うことができます。お互いの経験を学び合える、困ったときには助け合うことができ、得意な分野で協力し合うこと、情報を共有することもできます。情報量がとても増えてきます。

次が重要です。つらかったり、困っているのに、更に孤立していて、もっと誰かとつながりたいなと思っているお母さんたち、子育て当事者などに、いろいろな情報がまとめて届きやすくなります。一団体の情報だけではなく、「ああ、こんなものもある。私に合うものはどれだろう?」「私が必要なものはどんなものだろう?」と、情報のほしい人たちに届けやすくなることができると思います。

あとは、社会的認知が高くなりますし、信頼度も高くなります。何らかのかたちで資金などが回ってきたり、助成金などが動きやすくなったりということがあります。行政との関係も持ちやすくなっていくと思います。

そして、ひとつの地域でつながったら、だれかがキーパーソンになって、ほかの地域ともつながることができるでしょう。すでに今、複雑に絡み合っているいろいろなネットワークが、日本全国にできつつあります。こんなことが考えられるのではないかと思います。

今ほど、たった1軒の、ほとんどがたったひとりのお母さんに「子育てはあなたの責任、あなたがしっかりしなきゃ駄目よ」なんて言われている時代はなく、ほんのこの数十年のことです。少し前までは、お母さんはそんなに子育てしなくても、町の中でみんなが子育てをする時代があったわけです。特に都心では、お母さんがひとりで何役もこなさなければいけないし、子どもに少しでも何かあったら自分が怒られ、社会から批判されているような目にさらされ、とてもつらい思いをしています。そこから抜け出るためには、ひとりで子育てをする、親だけの責任などという発想はやめて、ここ数年ずいぶん言われるようになりましたが、「町で、地域で、みんなで子育て」という合言葉のとおりにしていくことです。このことと、組織がつながっていくネットワークは、表裏一体ではないかなと思っています。こんな形に表わせるような品川での子育てネットワークが、多くの人々の生活の中から生まれ出たように、みなさんひとりひとりが子育てをしたり、ひとつひとつの小さなサークル活動をしてきていることが土台にあって、つながり合うことが初めて宝物、輝けるものになっていくのだと思います。土台のないところにつなぎだけを作ろうと思って

子育て・子育てネットワークしながわ

座長 小俣昌道氏(NPO子育てしながわ)

副座長 片岡玲子氏(立正大学心理学部教授)

参加団体 <05.11時点>

社会福祉法人品川区社会福祉協議会

品川ボランティアセンター

社団法人 長寿社会文化協会(WAC)

NPO子育て品川

品川区立就学前乳幼児教育施設

ぷりすくーる西五反田

NPO法人 どりいみんぐ

NPO法人 フローレンス

旧東海道品川宿周辺まちづくり協議会

しながわ子育てガイド SKIP編集委員会

品川子育てポータルサイト てとてとねっと編集局

品川こども劇場

子育て仲間＊はらっぱ

しながわチャイルドライン

品川冒険あそびの会

じぶんみがき本舗

あおいそら

でかばっぐ

はっぴいトライアングル世話人会

読みきかせネットワーク おはなしどこでも隊

リンクママ

NPO法人ふれあいの家ーおばちゃんち

も、それは形だけで、絵に描いた餅になってしまうのではないでしょうか。

明治学院大学のこの研究所という宝物が港区にあり、こういう企画をしたわけですから、大いにこの研究所をこき使ってください、私が母校を誇りに思えるように。今みなさんが、ひとつひとつの活動を大事に土台にしてつながっていったら、きっと港区でも、すてきなことがどんどんうねり、形になって、孤立したお母さん、つらいお父さん、お母さんがひとりでも少なくなり、「子育てって楽しいよね」と思える人が増えていくと思います。そうしたら、結果として、いつの間にか生まれるこどもの人数が少し増えたね、子どもがどこにもいるようになったね、となるかもしれない・・・。

そして、子どもだけではなく、障害を持っている人やお年寄り、弱っている人なども含め、だれもが暮らしやすい町になったという日が、やがて来ること

を願っています。みなさんにも、これから身の回りのいろいろなことを無理せずに関わりながら、こつこつとやっていって欲しいです。そしてお隣の区ですから、「一緒につながっていきましょう!」とエールを送り、私からのお話はここまでにしたいと思います。どうもありがとうございました。

資料 8 ↓

市民活動のネットワークとは？

なに？

それぞれの団体の違いを認めながら、情報交換、連絡、共有ツール、協働企画などを通して、繋がっていくこと。

どうやってつながっているのか？

会議、ネット、情報の行き来、情報の外部発信、協働事業、イベント協力、ほか

なぜつながるか？

つながることで、さまざまな可能性が広がる。
互いに豊かになる。

つながったらなにができるのか？

違う立場、価値観の人と出会える。
経験を学びあえる。
困った時に助け合える。
得意な分野で協力し合える。
情報を共有できる。情報量が増える。
利用者、情報受信者に情報が届きやすくなる。
社会的な認知が高くなる。
資金などが、まわってきやすくなる。
行政との関係が持ちやすくなる。

ふれあいの家-おばちゃんち 幾島 博子

連絡先 品川区旗の台4-7-27

TEL/FAX 03-3786-5393

EMAIL thmn-iku@cts.ne.jp

おばちゃんち 事務所

品川区北品川2-28-22 tel/fax3471-8610

渡辺 美恵子 <http://obachanchi.org/>